

# ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第 234号

令和3年5月1日発行



ふれあい・いきいきサロン研究集会inかごつま(創作クラフト)令和3年2月16日

令和3年度事業計画 .....	2	あなたのまちのアクティブシニア 困りごと支え隊(いちき串木野市) .....	8
令和2年度すこやか基金による助成 .....	3	技術系ボランティア・NPOから水害時の 取り組みを学ぶ「移動寺小屋in鹿児島」を開催 .....	9
令和3年度役職員異動 .....	3	ボランティアTシャツ&ポロシャツの販売 .....	9
令和2年度ふれあい・いきいきサロン研究集会 .....	4	介護実習・普及センター楽しく学べる 介護講座(5~7月)のご案内 .....	10
「小さな親切」運動実行章の推薦の取組及び年間活動 ・「小さな親切」作文の募集 .....	5	令和2年度共同募金の助成決定について .....	11
福祉人材・研修センター研修日程一覧 .....	6~7	インフォメーション .....	12
介護の入門的研修のご案内 .....	8		

# 令和3年度鹿児島県社会福祉協議会事業計画について

令和3年度 社会福祉法人  
鹿児島県社会福祉協議会 事業体系図

## 事業方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの社会・経済活動が停滞し、外出の自粛等による高齢者等の孤立、減収や失業による生活困窮者の増加、地域活動の停止や居場所の喪失による地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした状況において、「生活を守る」ための取組として、生活困窮者やひとり親への生活支援、感染防止に配慮した通いの場や見守り活動などの継続、様々なアイデアや工夫を取り入れた新たな福祉実践が求められています。

さらに、国においては、「地域共生社会」の実現に向けた包括的な福祉サービス提供体制の構築、介護人材の確保及び業務効率化の取組の強化、生活困窮者自立支援・ひきこもり支援の推進、成年後見制度の利用促進のための体制整備といった様々

な取組が進められています。

地域福祉の中核的推進組織である県社協は、社会経済情勢によって急増する生活課題や複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、令和3年度の基本目標を次のとおり定め、本県の地域福祉の着実な推進に全力を傾注してまいります。特に、新型コロナウイルスに係る生活福祉資金特例貸付の適切な実施や住民主体による地域の支え合い活動等の市町村社協の取組への支援、社会福祉従事者等に対する各種研修のオンライン化による受講機会の拡充など、必要な支援を届けるための取組や県内の福祉人材の養成・確保等に務めてまいります。

また、新たに高齢者等の社会参加や地域のインフォーマルサービスの担い手を確保し、生活支援・介護予防サービスの創出を図ることを目的とした「住民参加型福祉サービス支援事業」や介護現場の負担軽減につながる介護ロボットの普及・促

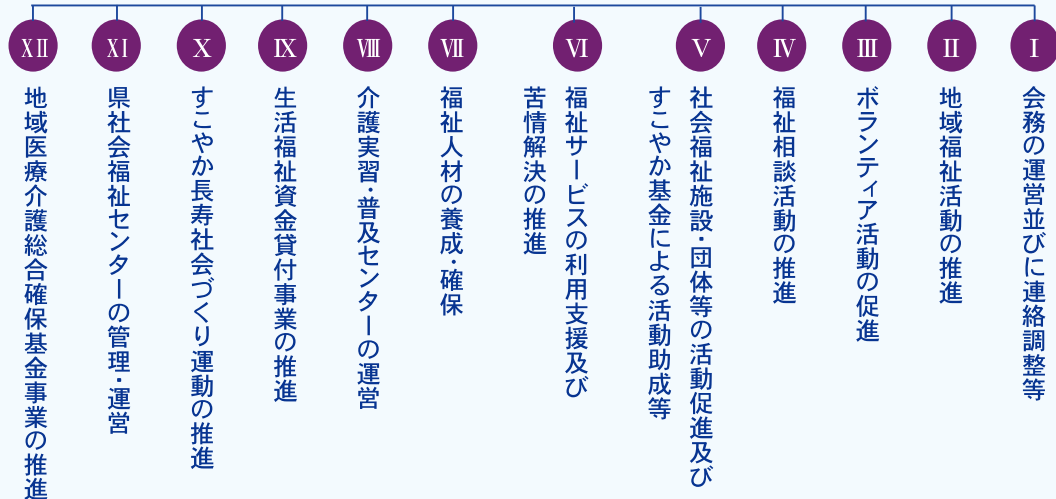
進を図る「介護ロボット相談窓口設置事業」、若者や他業種からの介護分野への参入促進を支援する新たな就学資金や就職支援金の貸付事業を加え、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを一層推進してまいります。

## 基本目標

- 1 地域福祉活動の推進
  - (1) 生活困窮者支援への適切な対応
  - (2) 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する地域支援基盤づくりの推進
  - (3) 生活福祉資金貸付事業の確かな運用と債権管理
- 2 福祉人材の養成・確保の強化
  - (1) オンラインの活用等による福祉人材育成事業の拡充
  - (2) 介護人材の確保・業務効率化の取組の支援
- 3 新たな時代の社会福祉諸制度への適切な対応と関係機関・団体との連携

## 鹿児島県の地域福祉の推進

鹿児島県における社会福祉事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化





## 報告 令和2年度 すこやか基金による助成について

県社会福祉協議会では、皆様方からお寄せいただいた善意の寄附金を「すこやか基金」として積み立て、その運用益を活用して福祉施設やボランティア活動団体及び福祉関係諸団体等へ助成を行っています。

令和2年度は、障害児通所支援事業所を運営する特定非営利活動法人及び一般社団法人 22 団体に対して助成を行いました。

障害児通所支援事業所では、バランス平均台やマット、絵カードなどの遊具、耕耘機、車いす用体重計等事務機器の整備に活用され、事業運営の充実が図られました。



### 鹿児島県社会福祉協議会

#### ○ 役職員異動

新	氏名	旧
常務理事兼事務局長	西井上 誠	常務理事
事務局次長兼生活支援部長兼福祉サービス利用支援室長	古市 幹朗	生活支援部長兼福祉サービス利用支援室長
事務局次長兼福祉人材・研修センター所長	日高 耕一	福祉人材・研修センター所長
地域福祉部長	古市 智子	介護実習・普及センター所長
審議役 介護実習・普及センター所長	迫 貴美	採用
福祉人材・普及センター 参事	伊地知 茂樹	採用
生活支援部 副部長	池下 真也	福祉人材・研修センター 副所長
福祉人材・研修センター 副所長	神 蘭 隆志	生活支援部 副部長
長寿社会推進部 副部長	鶴田 亜衣子	地域福祉部（施設福祉）副部長
地域福祉部（施設福祉）主幹	有川 裕介	長寿社会推進部 主幹
総務部 主幹	上園 貴久	総務部 主任
生活支援部 主幹	東平 正孝	生活支援部 主任
長寿社会推進部 主幹	小川 真衣	長寿社会推進部 主任
地域福祉部 主任	池上 智子	地域福祉部 主事
介護実習・普及センター 主任	深水 ありさ	介護実習・普及センター 主事
総務部 主事	高城 夕里歌	ボランティアセンター 主事
ボランティアセンター 主事	徳永 朱音	総務部 主事
生活支援部 主事	西原 健翔	生活支援部福祉サービス利用支援室 主事
福祉人材・研修センター 主事	中間 祥平	採用
生活支援部福祉サービス利用支援室 主事	柏木 洋人	採用

#### ○ 退職

所属・職	氏名
事務局長兼地域福祉部長	福田 正道
地域福祉部参事	前村 洋行
福祉人材・研修センター参事	杵田 昇

# 令和2年度ふれあい・いきいきサロン研究集会 in かごつま ～令和3年2月16日(火)かごしま県民交流センターで開催されました～

## 全体会(講演)



県内の高齢者サロン関係者等135名の参加のもと盛大に開催されました。

県内サロンの実践者や関係者の互いの情報交換の「交流の場」と、コロナ禍におけるサロン活動や新たな取り組みについての「学びの場」として、前半の全体会は「コロナ対策の基礎知識」の講演、後半は6つの分科会に分かれて行われました。

参加者は、多くの情報と気づきを得て充実した1日となりました。

## 分 科 会

### 第1分科会 「高齢者サロンいどばた会議」

グループに分かれて、自分たちのサロン活動の特徴やコロナ禍での活動についてそれぞれに紹介を行いました。

楽しい雰囲気の中で、多くの方との交流や情報交換が行われました。



### 第2分科会 「うた体操講座」

県レクリエーション協会の湯脇指導員から、歌いながら楽しく体を動かすことで身体機能の維持向上に役立つ「うた体操」をたくさんご指導いただきました。



### 第3分科会 「薩摩狂句で楽しい人生を」

薩摩狂句にがごい会の金井会長から、薩摩狂句の作り方・楽しみ方を熱心にご指導いただきました。

あらためて懐かしくて新しい「鹿児島弁」の勉強になり、サロンで楽しく役立ちます。



### 第4分科会 「ペーパークラフト講座」

県レクリエーション協会の徳永指導員・山元指導員の指導のもと、楽しみながら脳の活性化にも役立つ折り紙で「5月人形(初陣武者人形)」を作りました。

折り紙は、できあがった作品を身近に飾っておけるのも魅力の一つです。



### 第5分科会 「脳の活性化講座」

身体を動かしながら(身体運動)何かを考える(認知課題)ことは認知症予防に大変良いとされています。

県レクリエーション協会の中村指導員から、脳の活動を総動員して取り組む脳トレをたくさんご指導いただきました。



### 第6分科会 「昭和の田舎料理」

NPO法人霧島食育研究会の千葉理事長から、「食」は親子の心を繋ぐ大切にすべきもの、鹿児島の「食文化を次の世代に伝えたい」とお話があり、そのあと昭和から受け継がれている「あくまき」「煮しめ」などの懐かしいレシピを詳細にご紹介いただきました。



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部  
TEL:099-257-3855 <http://www.kaken-shakyo.jp>





## 「小さな親切」実行章を推薦してください! 親切行為を褒めて豊かな心を育む活動です

### 1 「小さな親切」実行章の贈呈とは

「小さな親切」運動の発足以来続けている基幹的な活動です。「小さな親切」を行った方(団体・個人)を推薦していただき、実行章の賞状を贈呈して表彰するものです。実行章の推薦は、いつでも、誰でもできます。

この活動は親切な行為のモチベーションを高めるとともに、地域社会の中に思いやりのネットワークを広げていくことが目的です。あなたが見た、受けた、新聞で読んだ、地域で話題となった「親切さん」を推薦してください。

### 2 親切行為の事例

- 学校内や地域の交通安全活動等を通して、いつも明るく元気な挨拶を行っている。
- 学校内や地域のゴミ拾い、清掃活動を行っている。
- 地域のまちづくり、郷土芸能の伝承活動、読み聞かせ活動などを行っている。
- 学校内で困っている人、恵まれない人への支援活動、募金活動、環境美化活動、高齢者・子育て支援活動、福祉施設等への慰問活動など、社会奉仕・ボランティア活動を行っている。

### 3 令和2年度「実行章」受章団体の紹介(県大会での表彰の様子)

※「小さな親切」運動鹿児島県大会においても、実行章の贈呈・表彰を行っています。

県内では、令和3年3月末現在で、累計 2,629団体 309,606名の方々が受章されています。



鹿信伊敷ハッピー会様



国際ソロボチミスト鹿児島様

### 【令和3年度の「小さな親切」運動鹿児島県本部の主な行事予定】

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| ○「小さな親切」作文コンクール締切     | 令和3年7月15日(木)  |
| ○はがきキャンペーン「てのひら感謝状」締切 | 令和3年8月13日(金)  |
| ○「小さな親切」運動鹿児島県大会      | 令和3年10月15日(金) |
| ○「小さな親切」鹿児島県だよりの発行    | 令和4年2月上旬      |

## 鹿児島県「小さな親切」作文コンクールの作品募集

#### ○ テーマ

「わたしがした・うけた・みた・やればよかった親切」

※ 題名は、テーマにそって自由につけて構いません。

#### ○ 応募資格及び応募字数

小学生・中学生

1,200字(400字詰め原稿用紙3枚)以内

高校生

1,600字(400字詰め原稿用紙4枚)以内

#### ○ 応募方法

作文には、題名、学校名、学年及び氏名を明記してください。原則として、学校でまとめて応募してください。

#### ○ 応募締切

令和3年7月15日(木)必着

#### ○ 入賞発表

令和3年10月初旬に学校又は個人あてに結果を連絡します。また、ホームページでも公表します。

#### ○ 表彰式等

特別賞(県知事賞、県教育委員会賞、県連合校長協会賞、県本部賞)は、令和3年10月に開催予定の「小さな親切」運動鹿児島県大会において表彰を行い、他の受賞者へは学校を通じて行います。

#### ○ 全国コンクールへの応募

小・中学生の入賞作品のうち、特選以上の作品は、公益社団法人「小さな親切」運動本部が行う「小さな親切」作文全国コンクールに県本部から応募させていただきます。

### < 実行章の推薦先及び作文コンクールの応募先 >

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 県社会福祉センター3F

「小さな親切」運動鹿児島県本部 TEL 099-257-3848 FAX 099-251-6779

被保護研修

課題別研修

※ 指定研修は除きます。

16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	
16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
社会福祉施設等新任職員研修(1班)															
16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	
オンライン会議・研修システム 活用研修(応用コース)①				社会福祉施設等新任職員研修(2班)						オンライン会議・研修システム 活用研修(応用コース)②					
16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土
福祉サービス第三者評価 調査者継続研修(基礎)						社会福祉施設等中堅職員研修						生活保護担当職員研修			
16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火
ハラスメント対応研修③			へき地保育所保育士 ・児童厚生員研修				救急法研修		社会福祉行政職員研修						
16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	
						福祉サービス第三者評価 調査者継続研修(発展)				被保護世帯法律問題研修 (扶養コース)					
16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
市町村社協監事研修						被保護世帯法律問題研修 (資産コース)									
16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	
被保護世帯法律問題研修 (他法施策コース)															
16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金
16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月			
16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木



令和3年度(2021年度)

# 福祉人材・研修センター研修日程表(予定)

■ 社会福祉施設職員向けの研修

■ 社会福祉行政職員向けの研修

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
4月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
5月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	新任生活保護担当職員研修			オンライン会議・研修システム活用研修(基礎コース)①				オンライン会議・研修システム活用研修(基礎コース)②				ハラスメント対応研修①			
7月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	ハラスメント対応研修②														
8月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
9月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	社会福祉施設等監督職員研修				カウンセリング研修(基礎)										
10月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	職場内研修担当者研修(養成コース)											社会福祉施設監事等研修			
11月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	社会福祉施設長等運営管理職員研修						職場内研修担当者研修(フォローアップコース)								
12月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	カウンセリング研修(発展)														
1月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
3月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

※ 各行事については、オンライン又は集合研修で実施しますが、都合で日程変更することもあり得ます。

# 令和3年度鹿児島県介護の入門的研修のご案内

## 開催地区・月日等

地区	1日目	2日目	3日目	会場	申込締切日
鹿児島・日置	7月3日(土)	7月10日(土)	7月11日(日)	かごしま県民交流センター	6月17日(木)
熊毛	8月6日(金)	8月7日(土)	8月8日(日)	中種子町老人福祉センター	7月22日(木)
姶良・伊佐	9月4日(土)	9月11日(土)	9月12日(日)	サン・あもり	8月19日(木)
曾於・肝属	10月23日(土)	10月30日(土)	10月31日(日)	鹿屋市社会福祉会館	10月7日(木)
大島	11月12日(金)	11月13日(土)	11月14日(日)	奄美文化センター	10月28日(木)
南薩	12月11日(土)	12月18日(土)	12月19日(日)	ふれあいプラザなのはな館	11月25日(木)
北薩	1月13日(木)	1月21日(金)	1月22日(土)	薩摩川内市総合福祉会館	12月23日(木)

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、研修の延期等もあり得ます。

**開催時間** 8:45~17:00

**対象者及び募集人数** (1) 介護未経験者で、介護や介護の仕事に興味・関心があり、勉強したいと思われる方  
(2) 各会場20名(先着順) ※鹿児島・日置会場は30名

**受講料** 無料

**申込み方法** 県社協ホームページに掲載の受講申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

**お申込み・お問い合わせ先**

〒890-8517  
鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県福祉人材・研修センター  
Tel.099-258-7888 Fax.099-250-9363

県社協ホームページ掲載のチラシはこちらから⇒



## あなたのまちのアクティブシニア



外出支援(たんぼぼ)



ゴミ出し(めだかの学校)



買い物支援(野平地区)

〈連絡先〉  
いちき串木野市社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター  
久木崎祐一  
TEL 0996-32-3183

いちき串木野市では、お困りの高齢者等に対して生活支援を行う「困りごと支援隊」が、令和元年11月から、2つの地区で活動しています。羽島地区では、「コスモス」・たんぼぼ、めだかの学校の3グループ、野平地区では「野平困りごと支援隊」の1グループです。困りごと支援隊とは、虚弱高齢者(被支援者)を居住地域の高齢者グループ(支援者)が「困りごと支援隊」として生活を支援する活動です。支援者には市が主催する「困りごと支援隊養成研修」を受講していただき、一定の知識を得た方々に活動をお願いしています。支援活動として、屋内・屋外の掃除、「三出し」、洗濯、布団干し・取り込み、衣類の補修・整理、調理、買い物、戸締り、環境整備(電球交換等)、外出支援、話し相手、などがあります。

被支援者を支援者が見つけ、地域の支え合いとして取り組んでおり、被支援者の多くは、独居や高齢者のみの世帯であることから、生活支援に助けられていることはもとより、支援者に会えることが喜びや気持ちの支えとなつていきます。このように、困りごと支援隊の活動は、単なる生活支援の提供だけでなく、地域の虚弱高齢者にとって、社会との繋がり、他者との交流ができること、そのことにより、生きる楽しみや意欲の向上に繋がる取り組みとなっています。

地域の繋がりがや助け合いの精神といたった互助の文化が両地区とも根付いており、高齢者の方々は喜びの声、困りごと支援隊の方々からは、やりがいを感じて嬉しくなる、といった声が社協に寄せられています。

現在、16地区のうち2地区で4つのグループが活動していますが、本市としては、今後も、この支援の輪を継続的に市全体に普及していきたいと考えています。



話し相手(コスモス)

生活支援活動「困りごと支援隊」(いちき串木野市)

このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。



震災がつなぐ全国ネットワーク

2020年度事業

# 移動寺子屋in鹿児島

～技術系ボランティア・NPOから水害時の取り組みを学ぶ～

## を開催!!

～九州初開催!! 県内の社協や行政、災害ボランティア・NPOなどから37人が参加!!～

東日本大震災以降、被災者支援の現場に欠かせない存在となっている“技術系ボランティア・NPO”。彼らが取り組む建築・土木・電気・設備等の専門知識・技術を生かした被災地支援活動に学ぶ「移動寺子屋in鹿児島」を震災がつなぐ全国ネットワークとの共催で令和3年2月24日(水)に開催しました。

会場となった鹿児島県青少年会館には、県内の市町村社協や市町村行政の職員、災害ボランティア・NPO団体等から37人の参加があり、午前中は講義形式で「水害により被災するということ」から「生活再建までの過程」、そして「水害後の家屋への適切な対応」などについて学びました。

午後からは、屋外にセットされた和室と洋室の大型模擬キットを使った“床はがし”や“壁材撤去”などの実践。そしてこれら作業時に留意すべき点や安全管理などの実践講習に熱心に取り組みました。

本県初の大雨特別警報が発表された昨年の令和2年7月豪雨では、鹿屋市を中心に県内で600棟以上の住家被害が発生しました。その直後には特別警報級の勢力を持った台風10号が接近するなど本県は常に水害リスクに晒されています。

水害が頻発化の傾向にある中、参加者は水害に遭った被災者への対応や被災家屋等の復旧作業に必要な手順、使用工具、安全管理など、被災者支援に必要な知識・技術等を積極的に学んでいました。



【午前:熱心に講義を聴講する参加者】



【午後:模擬キットでの実践講習風景】

## ボランティア活動啓発用 Tシャツ&ポロシャツの販売案内



ボランティアやNPO団体で活動されている方々の活動着、施設スタッフのユニフォーム等として、毎年好評をいただいているボランティア活動啓発用のTシャツとポロシャツの販売を開始しました。

注文期間は、**7月27日(火)**までです。チラシやホームページ等でご案内させていただいておりますので、是非ご覧ください。

なお、売上金の一部は社会福祉事業や被災地支援等に活用させていただきます。

	基本ロゴのみ	基本ロゴ+名入れ	基本ロゴ+団体ロゴ
Tシャツ	¥900	¥1,000	¥1,200
半袖ポロシャツ (ポケット付き)	¥1,400	¥1,500	¥1,700



お問い合わせ

鹿児島県社会福祉協議会 ボランティアセンター

TEL:099-253-6922 FAX:099-285-6160 HP: <http://www/kaken-shakyo.jp/>

## 5月～7月 楽しく学べる介護講座のご案内

番号	講座名	日時	内容	受講料等
1	介護レクリエーション研修	5月14日(金) 10:00～16:00	○簡単な運動や創作を楽しむ介護状態別レクリエーション	3,000円
2	介護職の体リフレッシュ研修	5月27日(木) 13:00～16:00	○介護職(自分)の身体状態把握と自己改善を図るストレッチ体操	2,000円
3	介護職スキルアップ研修 (認知症ケア)	5月28日(金) 10:00～16:00	○認知症疾患別援助の方法 ○事例を通しての理解(グループワーク)	4,000円
4	福祉用具専門相談員養成研修【資格取得研修】	5月29・30・6月 5・6・12・13・19・ 20日の8日間 9:00～17:00	○福祉用具の役割 ○高齢者の日常生活の理解 ○介護技術 ○福祉用具の特徴 ○住環境と住宅改修 ○福祉用具貸与計画等の意義と活用 ○修了評価など ※8日間で計51時間の研修です。 終了時間は日によって異なります。	46,000円
5	介護職スキルアップ研修 (感染症予防対策と褥瘡ケア)	6月4日(金) 10:00～16:00	○褥瘡ケア ○感染症の予防対策・ゾーニング ○汚染物の処理方法	4,000円
6	介護食調理教室	6月13日(日) 10:00～15:00	○高齢者が食べやすく、栄養バランスのとれた調理方法 ○補助食品の紹介	3,000円 (材料費込)
7	介護職スキルアップ研修 (排泄ケアI)	6月16日(水) 10:00～16:00	○排泄・失禁についての基礎知識 ○スキンケア方法 ○麻痺・拘縮のある方のおむつ交換	4,000円
8	やさしい介護教室A 【県民向け】	6月17日(木) 10:00～15:00	○認知症って!? 認知症の理解、声かけ・接し方 ○不安解消! 排泄用具の選び方・使い方	500円
9	介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケア)	6月18日(金) 10:00～16:00	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換、ポジショニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
10	介護職基礎研修A	6月25日(金) ～26日(土) 10:00～16:00	○介護保険制度の理解と介護の心得 ○身体や腰に負担をかけない起居・移乗・移動の介助方法 ○高齢者のための転倒予防体操・心身機能低下予防体操 ○身体状況に応じたおむつの選び方・あて方・交換方法	5,000円
11	介護職基礎研修B	7月7日(水) ～8日(木) 10:00～16:00	○福祉用具の選び方・使い方、安全確認トレーニング ○体位変換・ポジショニングケアの方法 ○誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法 ○認知症疾患別の理解とケア、コミュニケーションのとり方	5,000円
12	介護職スキルアップ研修 (口腔ケア)	7月9日(金) 10:00～16:00	○口腔ケアの基礎知識と方法 ○口腔ケア体操 ○拒否される方への対応・コミュニケーションのとり方	4,000円
13	やさしい介護教室B 【県民向け】	7月21日(水) 10:00～15:00	○これは助かる! 福祉用具の選び方・使い方 ○らくらく! 寝返りから移乗までの介助方法	500円
14	地域介護講座【県民向け】			
	【日時】7月28日(水) 10:00～15:30 【場所】菱刈総合保健福祉センター まごし館		○らくらく! 寝返り・起き上がり・立ち上がり・ 移乗の介助方法 ○ここに注意! 誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ○これは助かる! 福祉用具の選び方・使い方	500円

※番号1～13までの会場は、すべて「かごしま県民交流センター」です。

※認知症介護実践者等研修の開催時期等の詳細につきましては、本会HP <http://www.kaken-shakyo.jp/> 内の「介護実習・普及センター 研修・講座」ページに掲載しておりますのでご確認ください。

※申込み方法等の詳細については、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせください。

## お問い合わせ先

**鹿児島県介護実習・普及センター(福祉用具展示)** (運営: 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 かごしま県民交流センター2階

TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384

E-mail [kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp](mailto:kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp)

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

【利用時間: 9:00～17:00 休館日: 月曜日(※祝日の場合は翌日)、12/29～1/3】







# じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金 助成が決定しました



令和2年度共同募金の総額は、2億5,563万円となりました。コロナ禍で従来の募金活動の展開が難しいなか、県民の皆様方から温かいご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

一般募金については、下表のとおり各市町村における地域福祉活動、社会福祉協議会や社会福祉施設・団体、災害見舞金などに総額1億7,576万円の助成が決定しました。

今回は中央共同募金会と連携して「新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援キャンペーン」により新型コロナウイルス対策用機材や備品購入費として県内11市町社協に合計400万円を助成しました。

歳末たすけあい募金は、各市町村地域で支援を必要とされる方々や児童福祉施設等への見舞金品の贈呈、地域住民のための福祉サービス等に活用されました。

また、大規模災害時の被災者支援のため770万円を災害等準備金として積み立てました。

### ■令和2年度共同募金実績額 (単位：千円)

一般募金	214,943
歳末たすけあい募金	40,693
合計	255,636

### ■一般募金に係る収支状況 (単位：千円)

収入	
一般募金	214,943
前年度繰越金	4,903
災害等準備金取崩	5,772
配分調整積立金取崩	33,000
助成金戻入	840
受取利息	7
合計	259,465

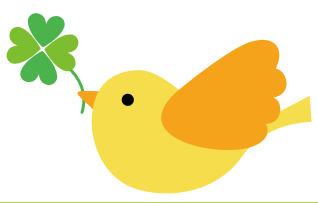
支出	
一般募金助成金	175,765
配分調整積立金	31,000
次年度運動準備金	45,000
災害等準備金積立金	7,700
合計	259,465

### ■一般募金の助成内訳

助成区分	金額(千円)	割合(%)	主な内容
地域福祉活動助成	147,606	84.0	各市町村における地域・在宅福祉サービス事業の活動促進
社会福祉協議会活動助成	14,312	8.1	
県社会福祉協議会活動	4,000	2.3	広報紙発行、社会福祉施設等活動促進
社会的孤立解消支援 「こどもイキイキ地域つながりプロジェクト」	5,000	2.8	不登校児等を対象にした子どもの貧困対策として、県社協と市町村社協が連携して取り組む社会的孤立解消支援事業への助成
「赤い羽根号」車両助成	5,312	3.0	市町村社協が地域福祉活動に必要とする車両の整備
社会福祉施設助成	1,000	0.6	
保育所(1か所)	1,000	0.6	備品の購入
福祉団体等助成	4,910	2.8	
社会福祉団体活動(18団体)	4,750	2.7	研修、機関紙・広報紙の発行等、県域で活動する福祉団体への助成
地域福祉活動支援(1団体)	160	0.1	地域福祉に取り組む団体等への支援
災害見舞金	3,937	2.2	火災、その他不測の災害被災者、遺族への見舞金
新型コロナウイルス対策事業助成 (11市町社協)	4,000	2.3	地域福祉活動に必要な新型コロナウイルス感染防止対策用備品等の整備 (中央共同募金会との連携による福祉活動応援キャンペーンによる助成)
合計	175,765	100.0	

# インフォメーション

information



## みなさまのご厚意に感謝いたします。

次の方々から、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。(令和3年1~3月)

- 野村洋子 様、野村有未 様 社会福祉事業に浄財を寄付されました。
- 生命保険協会鹿児島県協会 様
- 住友生命保険相互会社鹿児島支社 様
- 住友生命保険相互会社鹿児島支社 様



福祉貢献活動の一環として、伊佐市社会福祉協議会と県社会福祉協議会に福祉巡回車を寄贈されました。



「スマセイヒューマニー活動」の一環として県内の学校等の協力を得て集まった空き缶プルトップを換金して、子ども用車椅子を寄贈されました。



鹿児島365景カレンダーチャリティー募金を社会福祉事業に寄付されました。

会長 小笹 貴之 様 (右から3人目)  
事務局長 秋野 邦夫 様 (左から3人目)  
受領した伊佐市社会福祉協議会  
会長 野村 治男 様 (右から2人目)  
事務局長 上原口 親行様 (一番右)  
※撮影の時間だけマスクを外してもらいました。

鹿児島支社長 小足 善紀 様 (左から2番目)  
// 総務部 園田 にしき 様(最左)  
受領した社協の代表  
錦江町社会福祉協議会  
会長 木場 一昭 様(中央)  
※撮影の時間だけマスクを外してもらいました。

鹿児島支社長 小足 善紀 様(中央)  
※撮影の時間だけマスクを外してもらいました。



## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

# ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

### 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類	プラン	
	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
入院保険金日額	6,500円	
ケガの補償	手術 入院中の手術	65,000円
	保険金 外来の手術	32,500円
通院保険金日額	4,000円	
地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通) 5億円(限度額)	
年間保険料	350円	500円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>  
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。  
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。  
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>  
ふくしの保険 検索

商品パンフレットはコチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



- ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)
- 送迎サービス補償 (傷害保険)
- 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
〈保険会社〉  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ20-12302 2020.12.28 作成)

広報紙「ふくしのひろば」は本会のホームページでもご覧になれます。  
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779  
E-mail [soumu4@kaken-shakyo.jp](mailto:soumu4@kaken-shakyo.jp)  
★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。